

授業科目 人材育成教育支援論	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期2年次 通年開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	古川 照美		
担当者	古川 照美、工藤 英明、松崎 良美、川口 徹(非常勤)、諸橋 勇(非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
【ねらい】保健医療福祉職等におけるキャリア形成、キャリア支援、キャリアチェンジについて、および人材育成のしくみや開発につなげることができる能力を培う。			
【目標】組織等における人材育成に携わることを意図し、多職種連携に必要なコンピテンシーの理解や関連研修の内容や方法、および研究を紹介しながらリーダーシップを涵養する。また、教育方法や評価の方法、ファシリテーション技術やコーチングについて理解する。			
2. 授業計画・内容			
【川口】①専門職と生涯学習の時代：なぜ専門職は「一生涯学び続ける存在」なのか ②人材育成教育支援という考え方：育成から支援へ：人が育つ条件を考える ③専門職が育つ学習環境の構造：人が育つ現場は設計できる			
【諸橋】①医療・保健・福祉分野の人材育成におけるコミュニケーションの本質 ②人材育成としてのコーチング — 考えさせる支援の理論と技法 ③現場における人材育成支援の実装と省察			
【工藤】①スーパービジョン(総論)対人援助専門職に必要とされる個別、グループ、セルフスーパービジョンの各特徴と機能、実施方法論について概説する ②ファシリテーション(総論)ファシリテーションの技術的側面を高年齢分野における多職種連携場面としてのサービス担当者会議や地域ケア会議を事例としながら概説する ③実践事例に基づくスーパービジョン(演習)日常業務の振り返り事例を用い、スーパービジョン実践を具体的にシミュレーション及び模擬実施を行う			
【松崎】①ヘルスケアサービスにおける多職種連携：多職種連携における主体性と協働を支える環境づくり ②ソーシャル・キャピタルとコミュニティ・オーガニゼーション：ソーシャル・キャピタルをめぐる権力・主体性とコミュニティ形成——「誰にとっての資源か」を問い直す			
【古川】①キャリア形成とキャリアラダー、キャリアプラン：キャリア形成の概念と方法、自己分析、組織におけるキャリアプランの設計 ②リーダーシップとサーバント・リーダーシップ：リーダーシップとは何か、サーバント・リーダーシップの力、リーダーシップ開発プログラム ③組織マネジメントとチームマネジメント：組織とは、チームとは何か、チームや組織の力を高めるマネジメント ④ヘルスケアシステムの構築と施策化：ヘルスケアシステムの成り立ち、ヘルスケアシステムが円滑に機能するための役割、事業化・施策化とその方法とPDCAサイクル			
3. 教科書、参考書			
必要に応じ、講義時に紹介します。			
4. 成績評価方法			
各担当分野について20%の課題レポートなどにより総合的に評価します。			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
土日開講を基本とします。双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型授業、Webexのスペースを活用しての双方向型学習を予定しています。必要に応じて、オンデマンドでの後日受講も可とします。ただし、演習の際は対面のみとなります。			
7. その他			
オンライン受講を希望される方、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなすかの判断は事前にご相談ください。オンデマンドが不可のコマもあります。			